

2024 年度

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 事業報告

1. 重点プロジェクトの推進 重点目標

◇「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会・常任委員会

(1)宗門重点プロジェクトの実践目標

兵庫教区 重点プロジェクト

〈貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～〉ー子どもたちを育むためにー

【成果】

お寺で取り組む「子ども居場所(スペース)」づくりについては、子ども若者ご縁づくり推進委員会にて「寺院子弟交流イベント TERA mates Fes」を開催し 26 名の参加があった。

(2)兵庫教区重点プロジェクトの実践目標

兵庫教区 重点プロジェクト

立教開宗 800 年を契機に浄土真宗の未来を探る

【課題】

組長会・実践運動委員会において事例報告を依頼したが、事例報告が行われておらず、情報共有が行われていない。状況改善のため、報告を促す仕組みが求められている。

2. 「御同朋の社会をめざす運動」の成果の点検・総括

◇「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会・常任委員会

(1)組「御同朋の社会をめざす運動」推進協議会との連携と推進状況の調査

(2)「組重点プロジェクト実施の奨励と取り組み内容の情報交換

①組重点プロジェクトリーダーとの連携・研修会の開催

(3)御同朋の社会をめざす運動」人権啓発推進研修会

①組同朋講座【僧侶・寺族部門対象】【一般部門対象】の全組での開催

・僧侶、寺族部門対象 16 組

・一般部門対象 10 組

・組重点プロジェクト 4 組

【課題】

「み教えと差別の現実」の研修の未開催組(7 組)がある。開催・受講を促す取り組みを行う予定(3 月 27 日に合同で受講できる研修会を開催)

3. 「御同朋の社会の実現」のための取り組み

◇【専門委員会】研修講師団運営委員会

(1)「御同朋の社会をめざす運動」推進組研修会への出講

(2)「御同朋の社会をめざす運動」公開研修会の開催

〔1回〕7月31日（水）

- ・ 講題 「過去帳又はこれに類する帳簿の取り扱いについて」
- ・ 講師 神戸 修 師（同和教育振興会事業運営委員）
- ・ 参加 45 名

（来場 20 名：研修講師 6 名・委員 14 名、Zoom25 名：研修講師 8 名、委員 17 名）

〔2回〕3月27日（木）

- ・ 講題 「み教えと差別の現実について」
- ・ 講師 山内理史 師（同和教育振興会研修講師）

【成果】今年度は、実践運動委員会と併修で研修会を開催したため参加者が多かった。

(3)教区研修講師団研修協議会の開催（随時開催）

上記(2)〔1回〕と同時開催

(4)近畿同朋運動推進協議会との連携

〔第 64 回総会・会員研修会〕

- ・ 期 日 7月17日（水）
- ・ 会 場 本願寺伝道本部 3 階 大会議室
- ・ 参加者 88 名（兵庫教区 20 名）

〔寺院女性研修会〕

- ・ 期 日 11月5日（火）
- ・ 会 場 本願寺伝道本部 3 階 大会議室
- ・ 参加者 61 名（兵庫教区 24 名）

〔近畿同朋運動推進協議会 創立 70 周年記念大会〕

- ・ 期 日 2月3日（月）
- ・ 会 場 聞法会館 多目的ホール
- ・ 参加者 165 名（兵庫教区 39 名）

(5)差別解放運動団体との連携

同和問題にとりくむ兵庫県宗教教団連絡会議事務局

〔部落解放研究第 57 回全国集会〕

・期 日 11 月 19 日（火）～20（水）神戸国際展示場

・参加者 11 名

(6)社会のあらゆる差別解消のための取り組み

①「部落差別解消推進法」等の啓発活動の展開

◇【専門委員会】同朋啓発研修委員会

(1)研修資料・教材の作成検討

【課題】教区内で惹起した差別事件に対応するため設置した委員会であるため実働していない。現状資料関係は、宗派が同和教育振興会へ依頼し作製されていることから委員会の解散を検討。

4. 平和・ヤスクニ・ハンセン病問題・環境問題への取り組み

◇【専門委員会】非戦・平和推進検討委員会

会議：2 月 20 日（木）

(1)非戦・平和への取り組みの検討

①非戦・平和推進のための研修会の開催

②千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要参拝 9 月 18 日（水）

③非戦・平和推進の啓発活動の充実

【課題】2025 年が戦後 80 年にあたるため来年度事業について検討が必要。

また、平和問題に関する論点整理（戦後 80 年版）が出されたため研修などを検討。

◇「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会・常任委員会

(2)ハンセン病問題の啓発活動

慶讃法要において「長島愛生園歴史館パネル展」を実施

①リーフレットを活用したハンセン病問題の啓発活動

②長島愛生園・邑久光明園入所者交流会の開催

・期 日 11 月 6 日（水）

・内 容 現地研修（清掃・交流会）

・参加者 7 名

③長島愛生園・邑久光明園の宗教関係行事等の今後の展望の検討

④長島愛生園真宗同朋会 降誕会・報恩講への参拝奨励並びに現地研修

(3)社会問題への取り組み

①ビハーラ活動の推進

②矯正教化活動への取り組み

・慶讃法要において矯正教化活動のパネル展を実施

③高齢社会に対しての宗教者としての取り組みの検討

5. 人材育成の取り組み

◇【専門委員会】連研委員会

会議：6月21日・7月31日・11月22日・3月12日

(1)連研（門徒推進員養成連続研修会）の推進

①組連研開催の充実・推進・広報、全組での開催をめざして未開催、休止組への対応

〔連研開催組：17組〕

阪神東・阪神南・阪神西・神戸東・北摂・多可・加古川・神崎・神姫・姫路中・姫路西
網干・揖龍西・赤穂南・赤穂北・宍粟・岡山北

②連研のための研究会の開催

〔第1回〕

・期 日 9月3日（火）

・内 容 「語り合う」から見えるもの ～話し合い法座の楽しみ方～

・参加者 73名（来場55名、Zoom18名）

〔第2回〕

・期 日 2月18日（火）

・内 容 「語り合う」から見えるもの ～価値交流シートを用いて～

・参加者 47名（来場32名、Zoom15名）

【成果】コロナ禍で休止していた活動が再開され、教区開催の連研のための研究会への参加者も回を重ねるごとに回復してきている。

【課題】話し合い法座では、参加者が周囲の目を気にして本心からの発言をためらうことが見受けられる。より活発な意見交換ができる環境を整えることが求められている。

(2)門徒推進員の登録の奨励

①門徒推進員中央教修の受講の奨励（1名受講）

(3)中央実習修了者の人材の活用

連研のための研究会後、中央実習修了者のつどいを開催（12名参加）

◇【専門委員会】子ども・若者ご縁づくり推進委員会

マネージャー会議

4月25日、5月20日、7月3日、10月16日、11月18日、2月5日、3月4日

(1)「子ども・若者ご縁づくり（キッズサンガ）」の支援体制の確立

①各組サポーターとの連携

〔サポーター研修会〕

- ・日 時 2月27日（木）13：30～16:30
- ・場 所 本願寺神戸別院（Zoom 併用にて開催）
- ・内 容 各組事業報告について
- ・参加者 44名

〔モルック大会〕

- ①7月13日（土）場所：本願寺神戸別院 7チーム・22名
- ②2月22日（土）場所：本願寺神戸別院 23チーム・70名

〔クリーンキャンペーン〕

- ・期 日 12月14日（土）
- ・場 所 本願寺神戸別院周辺
- ・参加者 21名

②各組「子ども若者ご縁づくり（キッズサンガ）」の奨励

〔開催組：9組〕※2/12現在

阪神東・阪神南・神戸西・播磨中・姫路西・網干・宍粟・氷上東・朝来

③各教化団体との連携

〔少年連盟 第30回震災支援「報恩講子どもの集い」〕

- ・期 日 12月21日（土）
- ・参加者 162名

〔仏教青年連盟研修会「学びと笑い」〕

- ・期 日 3月29日（土）
- ・参加者 〇名

④その他団体等へのご縁づくりの働きかけ

〔寺院子弟交流イベント TERA mates Fes（テラメイツフェス）〕

- ・期 日 8月19日（月）
- ・場 所 本願寺神戸別院、神戸 D51PARK
- ・参加者 33名

(2)ご縁づくりのための啓発資料の活用

活動推進のためのリーフレットの配布（各組サポーター・全ヶ寺へ発送）

(3)その他

今後の更なる子ども・若者ご縁づくりの推進方法（部会等の設置）の検討

【成果】概ね事業計画通りに活動を実施することが出来た。今年度は、初めての取り組みとして、教区寺院子弟と協力し、寺院子弟交流イベントを開催。今後の教区の将来を担っていく若い世代に新たな形でのアプローチを行なった。

【課題】案内時に参加対象となる人たちピンポイントに案内が出来ていない現状があるので、今後は案内や周知の方法について検討していきたい。

◇【専門委員会】各教化組織代表者協議会

(1)各教化組織団体と連携

- ①教区統一の研修テーマでの研修
- ②次代を担う念仏者の養成
- ③次代を担う僧侶・寺院子弟の養成

〔教化団体・所属団体〕

布教団・門徒推進員連絡協議会・門徒総代会・仏教壮年会連盟・仏教婦人会連盟
寺族婦人会連盟・仏教青年連盟・本派スカウトクラブ・少年連盟・保育連盟
ビハーラ兵庫・矯正教化連盟兵庫教区支部・特別法務員協議会・青年僧侶の会

【課題】開催できなかった。

(2)その他

- ・得度講習会 7月26日（金）～27日（土）
- ・得度考査 7月28日（日）

6. いのちの尊さにめざめ・寄り添う取り組み

◇「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会・常任委員会

(1)災害対応：防災システム構築と充実

- ①寺院の防災システムへの初期登録やアドレス変更の確認奨励
- ②防災システム取扱いマニュアルの検討
- ③防災システムの利用に慣れるための取り組み
- ④別院に備える災害対策備蓄品の購入

【課題】 現在登録を進めているコミュニメールへの登録を増やすことに努める必要がある。

現状 646 寺院の内 401 寺院が登録済みとなっている。

(646 寺院は教区内寺院 760 寺院より住職代務の寺院 114 を除いた数)

(2)阪神・淡路大震災 物故者総追悼法要 1 月 17 日 (金)

①阪神・淡路大震災 物故者総追悼法要の勤修 110 名参拝 YouTube 配信 464 回

②宗門学校生徒による震災・いのちに関する作文朗読 5 名

③1.17「いのち」を考える研修会の開催

講演：浜村 淳 氏 (MBS ラジオパーソナリティ)

【成果】 50 年の長い期間 MBS ラジオ番組「ありがとう浜村淳です」に出演する講師のため、昔からラジオで親しみを感じた参拝者が喜ばれた。

◇【専門委員会】自死者追悼法要実行委員会

会議：8 月 28 日

(1)自死問題へ取り組む人材の養成

〔スタッフ養成研修会〕

・期 日 12 月 11 日 (水)

・講 師 竹内志津香さん (NPO 法人ゲートキーパー支援センター代表)

・参加者 10 名

〔自死者追悼法要リハーサル〕

・期 日 1 月 21 日 (火)

・参加者 14 名

(2)自死問題について考える研修会の開催

・期 日 11 月 14 日 (木) 自死問題公開講座

・講 師 大河内大博 氏

(訪問看護ステーションさっとさんが願生寺共同代表・チャプレン)

・参加者 27 名 (来場 14 名、オンライン 13 名)

(3)自死遺族のための自死者追悼法要の勤修

・期 日 2 月 8 日 (土)

・参加者 11 名 (来場 9 名・オンライン 2 名)

【成果】概ね事業計画通りに活動を実施した。

【課題】法要実施にあたるスタッフが固定化しているため、引き続き研修会への参加を呼びかけ、新しいスタッフを集めていきたい。例年 2 月に法要を修行しているが、暖かくなる季節に変更することも検討したい。

7. 宗教法人（寺院）の運営と維持存続についての研究

(1)実態の聞き取り調査による成功例の紹介並びに具体的な取り組みの模索

①法要法座の開催状況や開催方法の変化の調査

(2)仏事の形骸化への対応策の検討

【課題】兵庫教区重点プロジェクト「立教開宗 800 年を契機に浄土真宗の未来を探る」と関連する事業であるが、組から当該事例の取り組みの報告がない。報告を促し、成功事例を共有することで、より多くの組が参考にできるよう促進する必要がある。

8. 過疎・過密地域への対応

◇「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会・教区寺院振興対策委員会

(1)過疎・過密地域現状の掌握と対応の検討

①教区内寺院のホームページ作成支援の検討

【課題】過疎・過密地域への対応は、これまでも幾度となく検討を行っていたが、有効でかつ継続的な対応に繋がっていない現状となっている。

9. 文書伝道の充実

◇「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会・常任委員会

(1)啓発資料の作成

①教区新報 HYOGO の発行

発行回数年 3 回 発行部数 1 回 1,000 部～1,100 部

②教区新報『法』シリーズ（リーフレット）の発行・頒布普及

発行回数年 3 回

〔執筆者〕

- ・おぼん…藤井大顕（氷上東組 明光寺）2,905 部
- ・報恩講…窪田憲龍（揖龍西組 源徳寺）1,480 部
- ・春彼岸…津守秀憲（神戸中組 徳本寺）330 部（2/10 現在）

【成果】 計画通り発行できた。

【課題】 リーフレットの頒布数が期待に届かず、効果的な活用ができていないため、活用方法や作成に関する見直しが必要と思われる。

(2)ホームページの機能充実、SNS の活用による情報提供

- ①全寺院用メール送信システム（コミュメール）の普及推進
- ②YouTube・Facebook・Instagram・公式 LINE による情報発信
- ③YouTube・Facebook・Instagram・公式 LINE 登録奨励
- ④参拝者用ホームページ作成

【成果】 コミュメール登録寺院は 401 寺院

（教区内寺院数は 760 寺院、内住職代務の寺院は 114 寺院）

Facebook と Instagram は共にフォロワーが 1000 人を超え、徐々に増えている状況。

【課題】 参拝者用ホームページは作成を進めているが公開にもう少し時間を有する状況。

10. その他

(1)「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会

4 月 4 日（木）・7 月 31 日（水）・ 3 月 12 日（水）

(2)「御同朋の社会をめざす運動」教区常任委員会

5 月 23 日（木）・11 月 12 日（火）・ 2 月 17 日（月）

以 上